

令和3年度

地域ブランドの育成と保護

新型コロナウイルス後の世界では、分散型の地域の自立・持続が必要になってきています。これまでの一極集中型の国のあり方を脱し、各地域が地域資産を活かした分散自立型へのパラダイムシフトが求められています。

分散自立に向けて、地域に必要な価値を生み出す「地域ブランディング」。
地域ブランド化を進める上で、まず必要な地域の資産を活かすとは何でしょうか？
あなたの地域には、どのような地域資産(モノ・コト等)があるでしょうか？
例えば、地域ならではの歴史や文化、風土の物語はありますか？
そして、それらを活かした明確な地域のイメージがつくられていますか？
加えて、その地域ブランディングは、何のため？誰のため？誰が、どんなふうに進めるのですか？

この研修では、地域ブランドの育成と保護について考え、地域の活性化(分散自立)に有効な地域ブランディングの実務について実践的に学びます。

開催要領

日 程	令和3年12月2日(木)～12月3日(金)(2日間)
場 所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対 象	企画、まちづくり、産業振興関係等、地域ブランドを活用して地域の活性化(特産品開発や観光地域づくり)に取り組む市町村等の職員 2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。
募集人数	30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿 泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経 費	7,550円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	令和3年10月7日(木)まで ※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。
申込方法	JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。 議員の方は、議会事務局を通じて お申し込みください。 [Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(https://www.jiam.jp/doc/)に掲載しております。
受講決定	受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

12月

2日(木)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講・オリエンテーション

13:00~15:35
講義 地域ブランディングの実務
～地域活性化への攻めと守りのポイント～

東京農工大学大学院 客員教授 福井 隆 氏

地域活性化につなげるための地域ブランディングの実務について、豊富な実践事例をもとに攻めと守りの実務ポイントを中心にご講義いただきます。

- 地域活性化につながる地域ブランディングを成功させるための考え方
- 地域の歴史や風土、背景(土地の重層的な記憶)をベースとしたストーリー性と世界観のつくり方
- そのモノ・コト等の優位性の打ち出し方
- 地域でともに作り上げることの公益的な意味合いと事業主体
- 市場動向に対応したブランドマーケティングのあり方と持続可能性
- 地域団体商標制度やGIなど、押さえておくべき制度や知的財産に関する知識等

15:50~18:10
演習 地域ブランド戦略を立てる(戦略への導入・ワークショップ)

東京農工大学大学院 客員教授 福井 隆 氏

受講者それぞれが、地域でブランディングを進めている(進めようとしている)「我がまちが潜在的に持つ土地の重層的な記憶」や「地域商材(モノ・コト)」の特徴、強み、課題などをプレゼンしていただきます。それらの中から、研修で取り上げる演習の題材を決定します。(演習題材は、選ばれたものだけになります)

18:40~
交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:10
事例紹介 地域とともに歩むブランディングと知的財産権

正林国際特許商標事務所 弁理士 小野寺 隆 氏

和歌山県北山村の特産品である「じゃばら」のブランド化における知的財産権の守りと攻めの必要性等について、事例を基にわかり易く弁理士の視点でお話いただきます。また、地域ブランディングにおける知的財産権(地理的表示・地域団体商標等)の活用の仕方についても弁理士の立場からお話しいたします。

10:25~13:15
演習 地域ブランド戦略を立てる(ワークショップ)

東京農工大学大学院 客員教授 福井 隆 氏

これまでの講義と事例紹介等から学んだことを踏まえ、前日の演習で決定した題材についてグループごとに議論を行い、地域活性化につなげるための「地域ブランド戦略」をつくりだします。

13:30~15:00
演習 地域ブランド戦略を立てる(発表・講評・まとめ)

東京農工大学大学院 客員教授 福井 隆 氏

グループで議論した「地域ブランド戦略」を発表し、全体で共有します。受講者間の質疑の後、講師からコメントをいただきます。最後に、講師より全体のまとめの講義をいただき、それぞれの自治体における地域ブランド戦略につなげます。

15:00~15:30
ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和3年

12月

3日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。